

## R3年度 防災ラジオの全市展開と普及促進

- コミュニティFM中継局の整備工事により、令和3年度内に防災ラジオの難聴取地域を解消し、全市的に防災ラジオを展開します。
- 防災ラジオのさらなる普及を図るため、頒布価格を1台2,200円に引き下げました。

《実施機関：酒田市》

### 概要

八幡・松山・平田総合支所管内の各家庭に設置している同報系防災行政無線戸別受信機が機器の老朽化により修理不能なため、令和3年度末で運用を停止します。

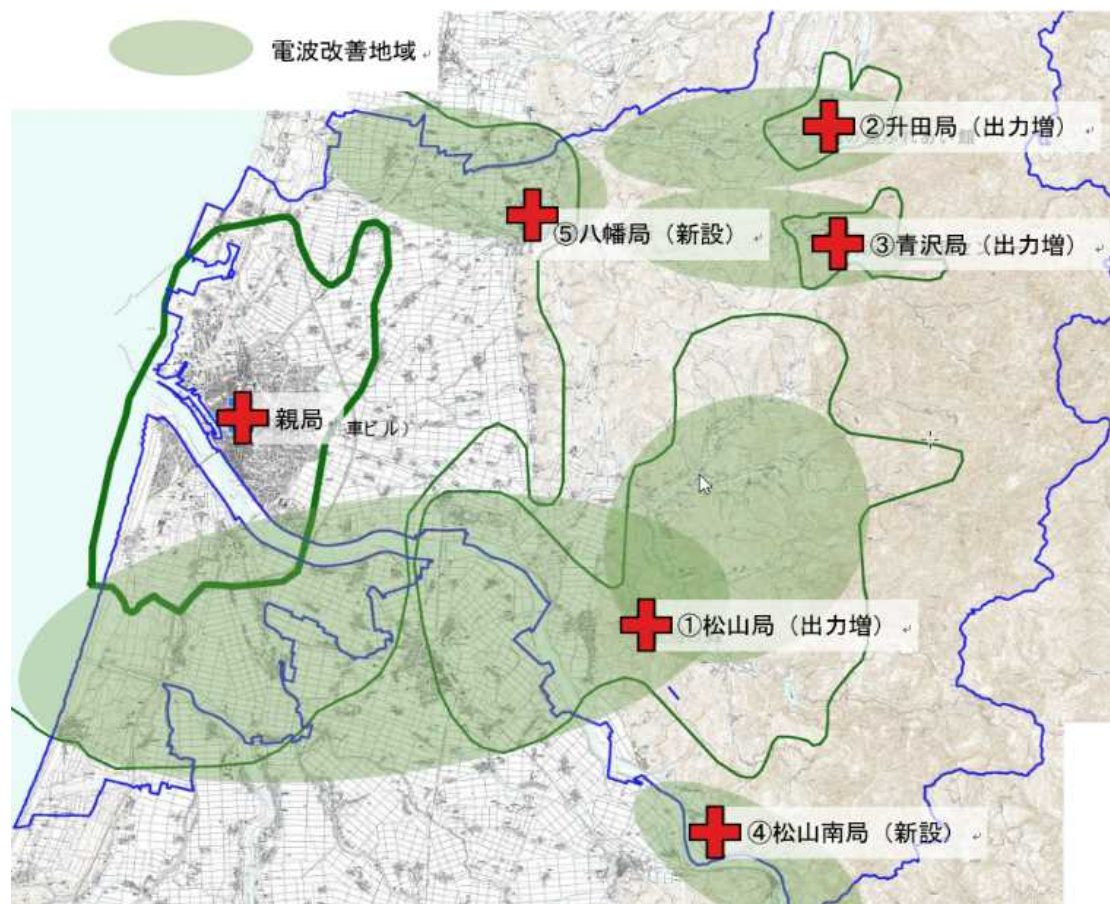
避難情報等を適切に伝達する手段を確保するために、これに代わり、コミュニティFM（ハーバーラジオ）を活用した防災ラジオを全市的に普及させていくことになりました。

現在は、難聴取地域も散在するため、令和3年度内にコミュニティFM中継局の整備工事を完了し、難聴取地域を解消します。



酒田市で取り扱っている防災ラジオ

### コミュニティFM中継局整備図



## R3.4.22 出水時等状況把握訓練を実施(赤川出張所)

- 洪水や地震発生等の緊急時に円滑かつ迅速な状況把握活動を行うため、出水時等状況把握訓練を実施しました。
- 今回の訓練では、出水・地震発生時に使用する『河川巡視・点検報告システム』や『無線設備』の操作方法を確認すると共に、実際、赤川出張所管内の堤防上にてシステムを活用した報告訓練を行いました。

《実施機関：酒田河川国道事務所》



▲▼事前説明(コロナ対策で分散開催)



▲▼無線使用と情報集約状況



▲▼現場での状況確認訓練の様子





## R3.4.26 出水時等状況把握訓練を実施

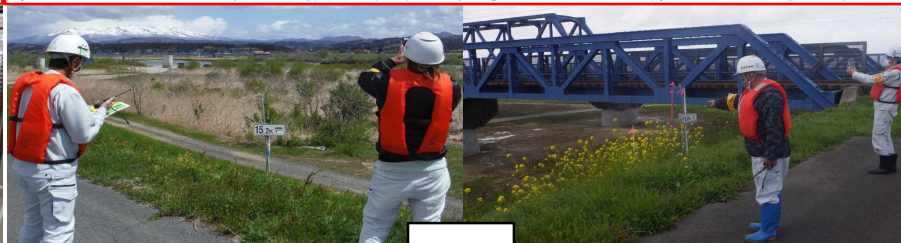
- 洪水時及び地震時等の緊急時に備え、円滑かつ迅速な活動を行うため、出水時等状況把握訓練を実施しました。
- 最上川下流管内(主に飽海出張所管理区間)について出水時等状況把握訓練を行い、スマートフォン及び携帯無線の装備及び操作手順を確認後、現地にて巡視・点検・報告をし、飽海出張所の河川巡視・点検報告システムと無線設備を活用しながら相互確認した事で、有事の際の状況把握に備えています。

《実施機関：酒田河川国道事務所》

現場事務所における操作説明状況 全景（スマートフォン、携帯無線）



現地における巡視・点検状況(目視確認、スマホ及び無線報告)



現地報告の相互確認状況(飽海出張所のシステム及び無線設備を活用)



現地における状況把握訓練状況(重要水防箇所)



操作説明状況①



操作説明状況②





# R3.5.19・6.2鶴岡市水害危険箇所現地視察(R2年7月豪雨被災箇所確認)

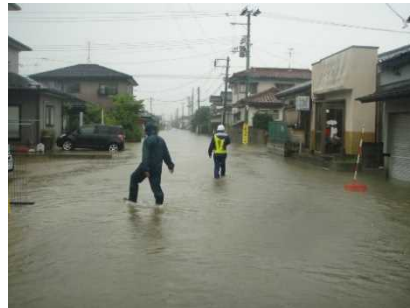
- 令和2年7月豪雨で被災した地区を回り、災害時と平時の状況の違いを確認した。(5/19)
- 鶴岡市藤島地域長沼地区において、新規に排水ポンプを導入し、設置・排水操作訓練を実施した。(6/2)
  - ◀実施機関:鶴岡市▶

令和2年7月28日

大山地区



柳田地区



大山地区では保育園（左の写真右側）の周りも冠水した。柳田地区では関係機関職員が見回りを行った。



今回の点検

大山地区



柳田地区



今回の点検では関係課職員が合同で被害箇所を点検し、排水溝や雨水樹の状況等を確認した。

藤島地域長沼排水ポンプ設置



藤島地域長沼地区ではこれまで大雨が降る毎に冠水被害が発生していたため、この度新規に排水ポンプ6台（3.3m<sup>3</sup>/分）を購入しました。地元の水防団に対し設置訓練が行われ、今後の被害に備えました。今後はハード面の対策も並行して実施していく予定です。



## R3.5.20 内水等排除作業訓練（排水ポンプ車設置訓練）を実施

- 本格的な出水期を前に、洪水時における内水等排除作業を円滑かつ迅速に実施するため、山形県や赤川沿いの関係自治体、管内工事業者等と合同で、排水ポンプ車設置訓練を行いました。
- 今回の訓練では、国土交通省が保有する排水能力60m<sup>3</sup>/分と30m<sup>3</sup>/分、2台の排水ポンプ車のほか、山形県の排水ポンプ車も現地に設置し、関係者で実際の対応等を確認しました。

《実施機関：酒田河川国道事務所・山形県・鶴岡市・三川町》



▲30m<sup>3</sup>/m排水ポンプ車



▲山形県の排水ポンプ車



▲▼訓練状況



▲60m<sup>3</sup>/m排水ポンプ車



▲排水作業の準備状況





# R3.5.20 排水ポンプ車及び照明車設置・運転訓練を実施

- 洪水時の内水被害発生に備え、円滑かつ迅速な活動を行うため、排水ポンプ車及び照明車設置・運転訓練を実施しました。
- 最上川下流管内に配備されている毎分30m<sup>3</sup>の排水ポンプ車及び照明車について設置・運転・撤去を行い、装備及び手順を確認し、出水期に備えています。

《実施機関：酒田河川国道事務所》

排水ポンプ車設置・運転訓練 全景（最上川 右岸 22.8k）



接地設置作業(発動発電機)



排水ホース接続作業



排水ポンプ設置状況(川裏側)



排水状況(川表側)



照明車設置・運転訓練 全景



運転開始



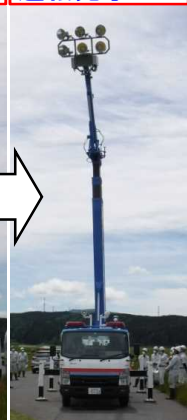
運転中【その1】



運転中【その2】



運転完了



照明車配置状況



## R3.5.21 「気象防災ワークショップ」を置賜総合支庁で開催

- 防災対応力向上を目指し、市町の防災担当者を対象に「**気象防災ワークショップ**」を開催。
- グループワークで『**防災気象情報を活用した災害対応**』を疑似体験。

≪実施機関：山形地方気象台≫

### 実施状況

日時：令和3年5月21日

参加者：米沢市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、飯豊町の防災担当者  
6名

風水害が発生するおそれがある状況において、地元気象台から発表される防災気象情報を参照しながら、体制強化や避難情報等の発令のタイミングなどについて検討・発表する。



どの地区に？

どのタイミングで？

### ワークショップの効果

- ① 参加者同士の議論を通して、防災気象情報の内容や意味に関する理解を深める。
- ② 他の参加者が有する知識や経験を共有する。
- ③ 自らの考えとの違いから、様々な気づきを得る。

⇒防災担当業務の改善につながる効果



〇時に〇〇地区へ避難指示の発令を…

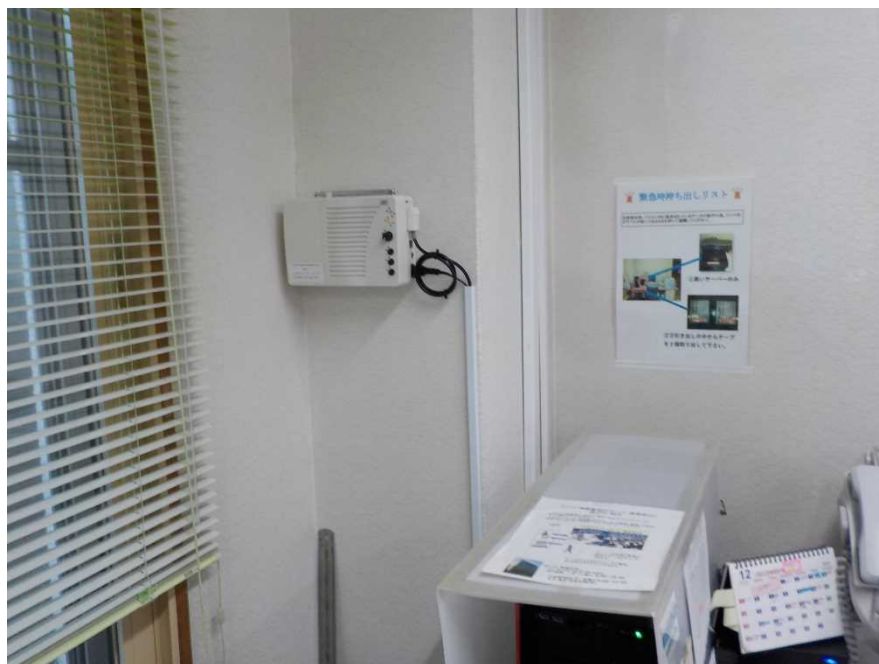




## R3.6月～8月 福祉施設への戸別受信機の設置

- 消防庁より無償貸与を受けた戸別受信機を、希望する町内の福祉施設(8施設)に設置しました。なお、屋内での受信が難しい施設においては町の費用負担により屋外アンテナを設置し、確実な受信環境を提供しました。
- 併せて施設職員には、テレビ、インターネット、スマホ等を活用した能動的な情報取得について周知を図りました。

《実施機関：三川町》



なの花荘に設置した戸別受信機



確実な受信のための屋外アンテナ

本町では、平成28年度に防災行政無線のデジタル化を行いました。電波の特性上、鉄筋コンクリート造などの施設屋内においては受信が不安定となることから、戸別受信機の設置にあたっては、専門業者による電波の受信状況の確認を行い、必要に応じて屋外アンテナを設置しました。

なお、消防庁では情報伝達手段の多重化として戸別受信機の普及を図る施策を展開していますが、本町のようにあらかじめ戸別受信機の運用を想定していない環境での戸別受信機の普及には、技術的側面や費用面において問題があることを消防庁に情報提供しました。



## R3.6.4 本格的な出水期に備え『洪水対応演習』を実施

- この演習は、水防警報や洪水予報等の防災情報を関係機関に迅速かつ的確に伝達し、地域の防災活動の適切な判断・行動に繋がられるよう、例年実施されているものです。
- 今年度は、赤川での氾濫を想定し、関係機関と連携した『オンライン方式でのホットライン情報共有訓練』や『防災エキスパートとの連携訓練』など、情報伝達プロセスの確認に重きを置いた演習を実施しました。

《実施機関：酒田河川国道事務所、山形地方气象台、山形県、鶴岡市、三川町、酒田市》



▲ オンライン方式（WEB会議システム）での  
ホットライン情報共有訓練  
（鶴岡市と酒田河川国道事務所）



▲ 防災エキスパート連携訓練

## R3.6.6 水防団による内水氾濫発生予想箇所の点検

- 最上川水系藤島川の増水により内水氾濫が発生している箇所の点検を行いました。
- 同箇所は、現在県で京田川減災防災事業による排水ポンプの設置工事を実施していますが、工事の進捗状況によっては自然流下ができない期間が生じることから、水防団による排水作業の手順等について確認しました。

《実施機関：三川町》



最上川水系藤島川増水時に同河川の水防対応を行う三川町水防団第3分団幹部が、排水ポンプ設置工事を施工中の二丁排水(三川町大字土口地内)の現場確認を行いました。

町の担当者から工事の進捗状況等の説明を受けたのち、排水作業時のポンプ車の駐車位置、小型動力ポンプの設置場所、給水場所、ホースラインなどを確認するとともに、現場内の危険箇所についても情報を共有しました。

また、分団長からは、令和2年7月豪雨(R3. 7. 28)の出動における反省点を踏まえた改善策なども指示があり、より確実、安全に作業が行えるよう、幹部全員で意識を統一することができました。



## R3.6.18 重要水防箇所合同巡視の実施

- 洪水時に迅速かつ的確な水防活動の実施を図り、災害を未然に防ぐための取り組みとして、市町・消防本部や水防団などの関係機関などが一同に会して、最上川下流及び赤川の重要水防箇所を合同で巡視し、洪水時の適切な行動に向けた認識の共有を図ります。
- 6月18日(金)より、最上川下流及び赤川の沿川4市町で、洪水に対してリスクが高い区間を現地で事前に確認し、水防活動等に備えます。※6月25日、6月28日、6月29日も実施

《実施機関：酒田河川国道事務所、鶴岡市、酒田市、庄内町、三川町、各自治体消防団》

### 実施状況



▲最上川下流での実施状況



▲赤川での実施状況

## R3.6.21 庄内町自主防災組織連絡協議会 研修会

- 自主防災会の役員改選に合わせ、町からの避難情報が発令された場合の行動マニュアルやマイタイムライン等について説明しました。
- 避難所用の段ボールベッドや電動パケットイレなど、取り扱い方法を説明しました。

《実施機関：庄内町》



段ボールベッド

電動パケットイレ



### 実施状況

日時：R3.6.21(月)14:00～16:00  
会場：狩川公民館  
対象：自主防災会 役員  
参加：88名



## R3.7月 町内2か所に土嚢ステーションを整備しました。

- 近年頻発している記録的豪雨により、全国的に道路冠水や水路・側溝から住宅へ浸水するなどの被害が相次いでおります。
- 庄内町では、より迅速・確実な災害対応を行うため、**住民も自由に利用できる『土嚢ステーション』**を町内2箇所に設置しました。

《実施機関：庄内町》



庄内町  
Shonai Town

町のホームページにも掲載し、お知らせしています!!

トップページ > くらしの情報 > 防災 > 防災情報 > 土のうステーション設置のお知らせ

### 土のうステーション設置のお知らせ

更新日：2021年12月6日

#### 土のうステーション設置のお知らせ

土のうステーションを余目地域と立川地域に、それぞれ設置していますので、一般の町民の方も自由にご利用ください。

#### 土のうステーション1（上朝丸防災緑地脇）



上朝丸防災緑地

上朝丸公民館

### 設置箇所

余目地域：上朝丸防災備蓄庫 脇



立川地域：立川総合支所 裏



土嚢ステーションには『土嚢袋保管箱』を合わせて設置しています。



## R3.7.7 「災害対策本部訓練」の実施

- 本格的な出水期を前に、組織的な災害対処能力向上のため、大雨による最上川決壊を想定した「災害対策本部訓練」を実施しました。
- 本訓練とは別に、大雨時の現場対応について建設部局と消防が意見交換を行い、災害時の連携要領を確認しました。

《実施機関：酒田市》

### 実施状況

日時：R3.7.7(水)9:00～16:00  
対象：各部長・事務局



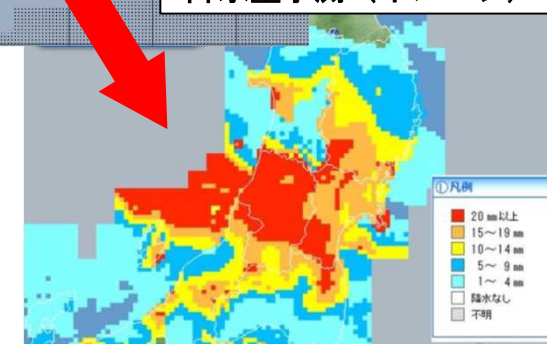
事前に災害想定を各部長に一部付与し、対応手順を確認してもらった上で、当日は計3回の災害対策本部会議にて、各部の対応要領を共有しました。これにより、**各部が連動して動く必要性、先行的な広報及び災害情報提供の重要性を再認識しました。**さらには避難行動要支援者に対するケアなど、より具体的で現実的な課題も見えてきました。

### 災害想定

2021年7月6日18:00頃の雨雲（イメージ）



2021年7月7日6:00以降  
降水量予測（イメージ）



2021年7月5日、山陰沖に発生した大きな雨雲が勢力を拡大しながら東進し、山形県全域で20mm～30mm/hの強い雨（土砂降り）が降ったとする想定で訓練を実施しました。



## R3.7.7 鶴岡市自主防災組織向けの出前講座を実施

- 地域防災力向上を目的として、自主防災組織リーダー研修での出前講座を実施。
- 地域の防災リーダーや消防、教員など、**地域防災を担う人材をターゲットに防災知識の普及啓発**を実施。オンラインを利用した効率的な取組も実施。

《実施機関：山形地方気象台》

### 実施状況

日時：令和3年7月7日  
概要：鶴岡市自主防災組織連絡協議会研修会での講演  
（鶴岡市出羽庄内国際村）  
参加者：自主防災役員 150名



「防災気象情報の利活用について～台風や集中豪雨から身を守るために～」

### 消防・学校での出前講座

日時：令和3年7月12日  
概要：山形県消防学校初任科教育における講演（三川町）  
参加者：消防学校初任科生 45名



日時：令和3年5月31日～6月21日  
概要：山形大学地域教育文化学部の授業科目「教員になるための学校防災」において気象の基礎・防災についての講義を実施。  
参加者：山形大学学生 80名



オンラインで開催

## R3.7.7 川西町災害対策本部設置訓練参加

- 市町村への防災支援として、川西町における災害対策本部設置訓練へ参加。気象状況の解説等、ホットラインを実施。
  - 緊急時には、市町村の避難情報発令・体制構築のための助言・気象解説をメールや担当者ホットラインにて実施。
- 《実施機関：山形地方気象台》**

### 実施状況

日時：令和3年7月7日  
概要：大雨時を想定した訓練において、テレビ会議を利用し山形地方気象台長から川西町長へホットライン



山形地方気象台長から、今後の大雨の見通し、土砂災害をはじめとした災害への警戒などについて説明(気象台会議室)

### 防災メール・担当者ホットライン

大雨などにより災害の起こるおそれがある場合など、県や市町村の担当者へ向けた**防災メール**の発信や**担当者ホットライン**を実施。予想される雨量などの情報提供や、市町村の避難情報・体制に関する助言を行った。

#### 防災メール

防災機関担当(者) 各位  
山形県・市町村防災担当者 各位

山形地方気象台の高野と申します。雨の見通しについてお知らせします。気象台が発表する防災気象情報に留意し、早めの防災対応を心がけてください。

【雨の見通し】  
22日の午後は局地的に雷を伴った激しい雨の降るおそれがある見込み

【現象の要因】  
気圧の谷の影響により大気の状態が不安定。

【大雨】  
村山、置賜、最上を中心に、夕方から夜のはじめころにかけて、1時間30ミリ(激しい雨)、総雨量60mmの雨が局地的に降り、暖かく湿った空気の流入が強まれば、さらに雨量が多くなる可能性がある。土砂災害や浸水、河川の増水に留意願います。

 6月22日の早期注意情報(警報級の可能性)と降水のピーク

最新の気象状況については山形地方気象台のホームページや各種危険度分布でご確認願います。

山形地方気象台HP  
<https://www.data.jma.go.jp/yamagata/index.html>

早期注意情報(警報級の可能性)は、山形県の警報・注意報(今後)  
<https://www.jma.go.jp/bosai/warning/#area.type=offices&area.co>

雷を伴った激しい雨が降るおそれ

大雨が予想される地域、時間帯、雨量、注意事項

#### 担当者ホットライン





## R3.9.1 令和3年度 総合防災訓練の実施

- 職員の防災能力の向上を図ることを目的として「総合防災訓練」を実施しました。
- 訓練では、山形県沖を震源とする地震と津波の発生を想定し、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、災害発生時における被災状況の迅速かつ的確な伝達及び情報共有、応急復旧などの災害対応訓練を実施しました。

《実施機関：酒田河川国道事務所》

【訓練日時】 令和3年9月1日(水)9:40発災

【訓練想定】 山形県沖を震源とする酒田管内震度6弱  
(津波想定あり)

【主な訓練内容・ポイント】

・新型コロナウイルス等感染症対策を踏まえた災害対応の確認。災害対策室での対応要員を制限(従来比54.3%)し、通常業務を行う事務室(別室)との連携で密を回避した災害対応。

- ①地震対応訓練(災害対策支部設置、管理施設点検等、応急復旧訓練(図上)など)
- ②自治体支援(自治体とのホットライン構築・リエゾン・TEC-FORCE派遣)
- ③災害協定団体・防災エキスパート要請訓練
- ④水質事故対応訓練



【災害対策室 訓練状況】

災害対策室での対応要員の制限(従来比54.3%)



【事務室(別室)との連携】

別室での応急復旧訓練

## R3.9.2 渡前小学校(鶴岡市)の全校集会で『防災朝会』を実施

- 学校の朝礼などを活用し、水害から命を守るために取るべき行動を”短時間で”子どもたちに学習してもらう『防災朝会(講習会)』を実施しました。
- 今回、コロナ禍における初の試みとして『オンライン形式』による防災朝会にチャレンジしました。  
 ≪実施機関:酒田河川国道事務所≫

### 実施状況

日時: R3.9.2(木)8:20~8:40  
 学校名: 鶴岡市立渡前小学校  
 対象: 1~6学年(64名)



小学校の各教室と事務所を  
 オンラインで結び、コロナ禍  
 においても防災朝会を実施!!

### イラストを使ったクイズも交え、楽しく学習!



### アンケート結果(児童のコメント)

防災朝会終了後、児童全員に  
 アンケート調査を実施!!  
 約8割の児童が洪水への心構え  
 が変わったと回答!!

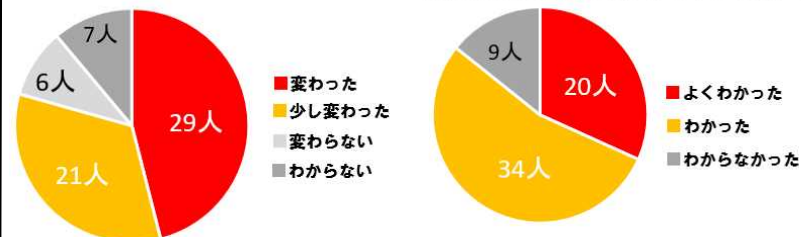
この次何が  
 おきるかな



### 学校近くの河川の比較写真を使い、説明資料も工夫!!



洪水についての心構えは変わったか? 防災朝会の内容はわかりやすかったか?



- 身近な所で洪水が起こるかも知れないので、その時のために、避難場所などを確認しておこうと思いました。
- これから台風の時季なので、家族で洪水について話し合っ、備えをしていきたいと思いました。



## R3.9.9 山形地域メディア連携協議会を設立しました

- 国や自治体の発信する水害等リスク情報の内容・切迫性が、地域住民に迅速に伝わり、住民自らの避難行動につながるよう、情報発信・共有方法の充実を図るため、マスメディア等と連携した『山形地域メディア連携協議会』を設立しました。
- 広範性、即時性、双方向性など、それぞれのメディアが有する特性を活かした対応策、連携策を検討し、「逃げ遅れゼロ」の実現を目指します。

### 開催状況

日時：令和3年9月9日（木）10:00～12:00  
会議方式：Web会議

- ・山形地域メディア連携協議会の設立について
- ・河川監視カメラの画像提供について
- ・地方气象台と整備局との合同記者会見訓練について

### 参画機関

#### ■メディア：22機関

朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞、河北新聞、共同通信、時事通信、山形新聞、荘内日報、米澤新聞、コミュニティしんぶん、NHK山形、山形放送、山形テレビ、テレビユー山形、さくらんぼテレビ、ダイバーシティメディア、ニューメディア、エフエム山形、ラジオモンスター、ハーバーラジオ、おらんだラジオ

#### ■行政機関：8機関

- ・東北地方整備局 河川部
- ・山形河川国道事務所
- ・酒田河川国道事務所
- ・新庄河川事務所
- ・最上川ダム統合管理事務所
- ・月山ダム管理所
- ・気象庁 山形地方气象台
- ・山形県 県土整備部河川課

### 位置付け

#### 流域治水協議会

##### 〈主な協議事項〉

- ・上記以外の森林や農地等を含めた総合的な取組に関する事項

#### 【水防法】大規模氾濫減災協議会

##### 〈主な協議事項〉

- ・円滑かつ迅速な避難体制を始めとする浸水被害防止・軽減に関する事項

#### 【住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害 ハザード・リスク情報共有プロジェクト】

#### メディア連携協議会

##### 〈主な協議事項〉

地域住民の避難行動を推進するため、災害情報を発信する行政と情報を伝えるテレビやラジオ、新聞等、それぞれが有する特性を活かした情報の発信・伝達に関する事項

### 会議状況（WEB会議）



▲ 山形河川国道事務所 会場

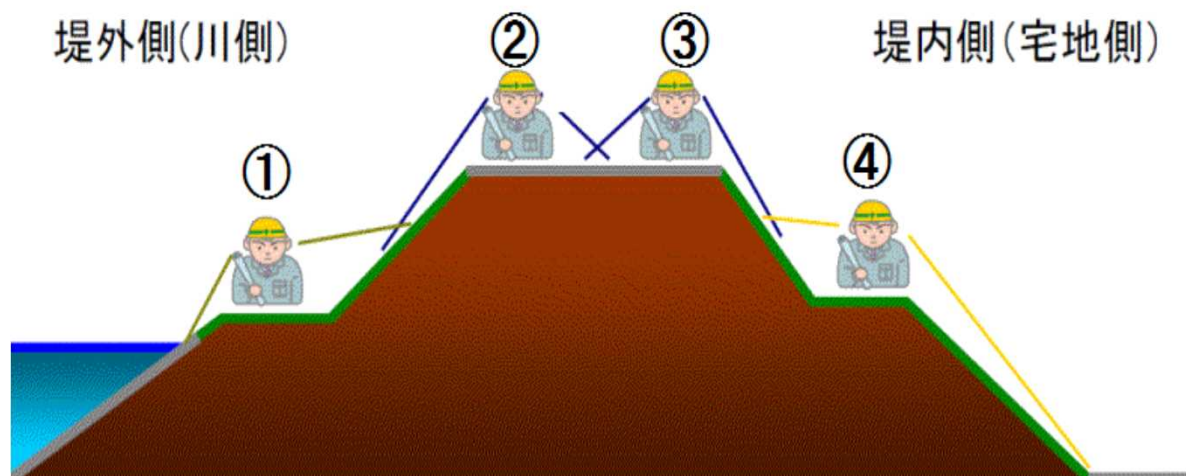


▲ 酒田河川国道事務所 会場

## R3.9.14～ 堤防徒歩目視点検(台風期)の実施

- 堤防等の河川管理施設の機能に影響を及ぼす変状・変化は様々な要因によって生じることから、その変状・変化を発見・観察するため目視を主体とした堤防徒歩目視点検を実施しました。
- 令和3年9月14日から15班体制により管内河川の点検を実施し、発見した変化・変状箇所については様々な対策を講じることにより、堤防の決壊や河川の氾濫等による水害防止・軽減を図ります。

《実施機関：酒田河川国道事務所》



▲ 徒歩点検のイメージ



堤防天端の不陸状況を確認



堤防法面の表層状況を確認



## R3.9.28 赤川水系ダム洪水調節機能協議会の設置

- 既存ストックを有効活用した即効性が高い洪水被害の発生抑止・被害軽減対策を目的に、令和2年5月29日に「治水協定」を締結し、一定規模の大雨が予想された時、ダム洪水調節容量を拡大する「事前放流」の実施が可能となりました。
- **令和3年9月28日、ダムの洪水調節機能向上の取組の継続・推進を図ることを目的に、河川管理者・ダム管理者・関係利水者等による『洪水調節機能協議会』を設置しました。**

◀実施機関：酒田河川国道事務所、月山ダム管理所、山形地方気象台、山形県、東北電力(株)▶

### 【治水協定を締結したダム】

水系	ダム名	管理者	河川名
赤川	月山ダム	東北地方整備局	梵字川
	荒沢ダム	山形県	赤川
	八久和ダム	東北電力(株)	梵字川
	梵字川ダム	東北電力(株)	梵字川
	新落合ダム	東北電力(株)	赤川

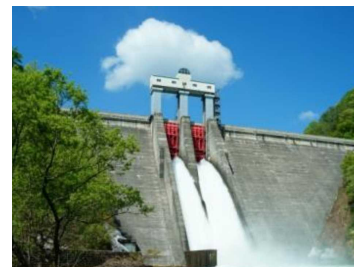
### 【ダム放流のイメージ】



八久和ダム



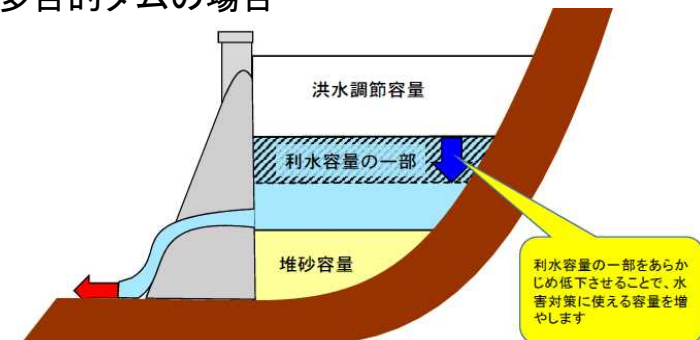
月山ダム



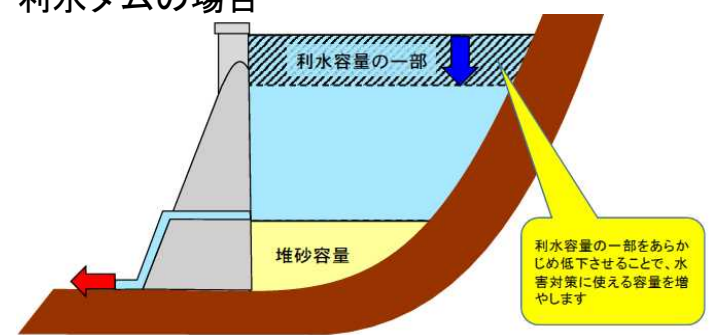
荒沢ダム  
※写真はパンフレットより引用

### 【事前放流イメージ図】

#### 多目的ダムの場合



#### 利水ダムの場合



# R3.10.15 三川町防災ガイドブックを全戸配布

- 各家庭における防災意識の高揚を目的に、三川町防災ガイドブックを作成し全戸配布しました。
- このガイドブックでは、災害が発生する前の備えや、避難情報発令時の速やかな避難開始などのため、各家庭の手引きとして活用していただくものです。
- 作成にあたっては、酒田河川国道事務所、NHK山形放送局、ヤフー(株)などから支援をいただき、できる限り実用的で分かりやすい内容となるように努めました。

《実施機関：三川町》



能動的に情報を取得するための方法について紹介



酒田河川国道事務所から提供いただいた資料を元に作成したマイ・タイムライン



## R3.10.28 宮野浦小学校(酒田市)で防災講座を実施

- 宮野浦小学校4年生の社会科の時間を活用して、「自然災害から暮らしを守る」ための防災講座を実施しました。
- 段ボールベッドなどの資機材を展示し、実際に触れてもらいながら講座を進めるなど、より興味を持ってもらえるように工夫しました。

《実施機関：酒田市》

### 実施状況

日時：R3.10.28(木)10:40~11:25  
学校名：酒田市立宮野浦小学校  
対象：4年生(65名)



### 幼少期からの防災教育が「率先避難者」を育てる！

段ボールベッド、プライベート空間を確保できる簡易テント、備蓄食料などを実際に目で見て触れてもらいました。児童は興味津々で、たくさんの気づきがあったようです。幼少期からの防災意識の醸成が、「率先避難者」としての意識を形成していくものであると実感しました。



段ボールベッド



簡易テント  
(プライベートルーム)



備蓄食料  
(カレーのサンプル)

### マイ・タイムラインの作成

後日、同校では山形大学大学院教育実践研究科 村山良之教授(市防災教育アドバイザー)を講師に招き、同児童らは「マイ・タイムライン」を作成しました。クラスメイトのものと見比べながら、家族構成による違いなどを確認しました。